

## 子どもの音楽(応用)

担当教員名	伊藤 桂子、河本 洋一
開講期・単位	1年 後期・選択 1単位・演習・CH1321165

講義の目的および概要	◇保育職に必要な音楽に関する基礎的な知識と技能を発展させ、身につけた知識と技能をより実践的に使うことを目指します。
講義方法	◇毎回の冒頭30分程度を使い、「スキルアップタイム（発声、読譜、リズム等）」をおこないます。 ◇二人の担当教員が交代しながら、理論的内容と表現的内容の演習授業をおこないます。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：『子どもの音楽』という科目の目指すものを理解します。今持っている音楽の力を把握し、今後の授業の受け方をに役立てます。（河本）</li> <li>2. 子どもの歌の新譜に挑戦（伊藤）</li> <li>3. 子どもの音楽の楽譜を使いこなす方法：音符も文字も一種の記号であるという観点から、楽譜の使い方を見直します。（河本）</li> <li>4. 定番子どもの歌の弾き歌い①（伊藤）</li> <li>5. コード（和音）の仕組み①：わかると便利なコード（和音）の基礎について理解します。（河本）</li> <li>6. 定番子どもの歌の弾き歌い②～季節に合った選曲を考える（伊藤）</li> <li>7. コード（和音）の仕組み②：様々なコードの種類について理解します。（河本）</li> <li>8. 定番子どもの歌の弾き歌い③～場面に合った選曲を考える（伊藤）</li> <li>9. コードネームの実践的な使い方①：コードネームを使って演奏する方法を理解します。（河本）</li> <li>10. 定番子どもの歌の弾き歌い④：コードの違いを感じ取り表現する（伊藤）</li> <li>11. コードネームの実践的な使い方②：楽譜に書いてある音符からコードネームを導く方法を理解します。（河本）</li> <li>12. 簡単な作曲の実践（伊藤）</li> <li>13. コードネームの実践的な使い方③：コードネームの繋がり方を理解し、簡易伴奏を自作する方法を理解します。（河本）</li> <li>14. 実技試験（授業内試験）（伊藤）</li> <li>15. まとめと履修カルテ記入：アドグル毎に質問を取り上げて、これまでの授業を振り返ります。（河本）</li> </ol>
到達目標	◇保育の音楽表現で必要とされる実践的な知識が身についている。 ◇保育の音楽表現で必要とされる実践的な表現が身についている。
成績評価基準と方法	下記のAとBを80：20の比率で合計100点に換算し、評価します。 A（80点） 定期試験：知識（試験期間に実施）：マークシート方式40点換算、実技（授業内実施）：40点換算 B（20点） 毎回のスキルアップ課題（15点換算）、ノート作成（5点換算）

<b>テキスト・参考文献</b>	◇子どもの歌200（チャイルド本社） ※複数科目共用 ◇新・保育内容シリーズ5 音楽表現（一藝社） ◇ゆびトレ（本学オリジナル教材） ◇教職課程のための大学ピアノ教本（教育芸術社） ※複数科目共用
<b>授業外学習</b>	◇スキルアップタイムの課題は、事前の練習が必要です。毎回指名しますので、必ず練習してきてください。 ◇Web上で、受講前アンケートを回答してから授業に参加してください。（3、5、7、9、11、13、15回のみ）
<b>その他</b>	音楽用の五線ノートを必ず用意してください。なお、授業で使用したノートは、理論の定期試験の時に持ち込み可能な資料になります。 【関連免許資格】幼稚園教諭、保育士、こども音楽療育士